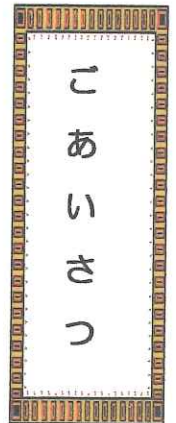




(題字 旧石鳥谷町長 高橋公男 氏)

在京石鳥谷町人会だより
 事務連絡所 花巻市東京事務所内
 〒100-0006
 東京都千代田区有楽町2丁目2番2号 (数寄屋橋大雅ビル3階)
 TEL:03-3573-5773 FAX:03-3573-5727
 事務局 〒187-0031 東京都小平市
 小川東町 1817-39
 大竹雅夫方 ☎&FAX 042-332-3025



在京石鳥谷町人会

会長 高橋 弘美



会員の皆様、こんにちは。

昨年十一月の総会にて、みなさんより選任され熊谷福二さんから引継ぎました高橋弘美です。引継いだと申しまして、会の運営は副会長さんをはじめとする幹事の皆さんにおんぶに抱っここの状態で、「ご迷惑をおかけしているのが現在の状況でございます。

さて、今この原稿を認めている最中に未曾有の大災害「東日本大地震」が起こってしまいました。テレビやインターネットの動画を通じて目にする大地震とその後の津波の状況には、目を覆いたくなるような、これが本当に東北地方で起きているのかまったく信じられないような惨

状でありました。実は私は、今勤務している会社の社員の採用のために岩手県を担当し県内の高校を何度も回っております。北は久慈市から宮古市、山田町、釜石市、大船渡市、陸前高田市に亘る沿岸部は風光明媚なところであり、今でも町並みや海岸風景が鮮明に記憶に残っています。その美しい場所に容赦なく大津波が押し寄せる様子は、まるで悪魔の所業のように感じられ、胸が締めつけられる思いでありました。

いまだに被害の全体が把握できない状況であり、被害者の方の救助も進行中のところでもあります。何とか一人でも多くの方が助かって欲しいと願わずにはいられません。被災地全体に向けて、そして特に被害が甚大であったふるさと岩手の沿岸地方の方々に心からお見舞い申し上げます。こうした状況に対して我々在京石鳥谷町人会として、さらには岩手県人連合会レベルで何ができるか考えていくところでございます。関係の皆様と協議しながら進めたいと思っております。

このようなことも踏まえ、我が在京石鳥谷町人会の設立理念であります「会員相互の親睦と融和を

図るとともに、ふるさと花巻市石鳥谷町との交流を深め、相互の発展向上を図る」ことの意義が極めて大切であることを改めて感じる次第です。実は被災に先立つこと一ヶ月前、花巻市まちづくり部の大山部長主催による四つ(石鳥谷、大迫、東和、花巻)の在京会の情報交換会が東京事務所で開催されました。花巻市の近況報告がなされた後、各在京会の活動報告が実施されましたが、その中で四つの在京会合同の行事を是非よろうとの話が盛り上がりました。いろいろな企画案がまとまり次第、会員の皆様にご案内申し上げて参りますが、その他にも交流に役立つ行事を考えて行きたいと思っておりますので、是非積極的にご参加頂きたいと思っております。

会員の皆様には引き続き、ご協力ご支援をよろしくお願い申し上げます。



ふるさとを感じた

町人会

東京都板橋区赤塚在住

高橋 安子

ふるさと花巻をはなれ東京に住んであつと言う間に四十七年の月日が経ちました。今では娘夫婦と孫に囲まれ、毎日が充実した楽しい日々を送っています。

東京も木々が色づきはじめて十一月初旬、千葉在住の従妹に誘われ町人会に参加するため友人と三人で上野精養軒に向かいました。

私達東北出身の者にとつては「上野」はいつまで経っても、何かもの悲しく心を揺さぶるものがあります。三人とも八幡中学校の出身で、新宿と板橋に分かれてはいるものの何かと交流を持ち、六十歳を過ぎたいまでも和ちゃん、幸ちゃん、安ちゃんとチャンづけで呼びあつており、「ふるさと」があるって本当にいいなと思います。心にあつたかいものを与えてくれます。形にはありませんが、ふるさとの無い人には持てない大きな財産のような気が致します。岩手とか、花巻と聞いたそれだけでホッ

トして見知らぬ人にも心を許せる何かがあります。

もう方言も忘れてしまいましたが、会場で時々耳にする方言や訛りにとっても懐かしく心温まるものを感じました。

会場では、十日市のお神楽が披露されましたが昔の思い出が蘇りました。いつまでも継承していつて貰いたいものと思います。他に民謡も歌われましたが、共に口ずさみ久々に聞く民謡も心にシーンときました。フラダンスのご披露には、随分と練習を重ねたことと思います。



受付から始まり、クジ引きやお料理まで会の運営には多くの方々のご苦勞があつたことと思います。

何にもしないで、美味しいご馳走を頂き美味しいお酒を頂き至福のひとときでした。帰りには、東京に住んでいてなかなか上野まで足を運ぶことが無いので、折から開催されて

いた仏教展を見学し身も心も清々しい一日でした。



親睦交流会に

参加して

石鳥谷町関口在住

十日市神楽事務局

川村 健二

昨年十一月に開催されました、石鳥谷町人会の親睦交流会にお招きいただき誠にありがとうございました。十日市神楽は県外への遠征は初め

てのことであり、ワクワクドキドキ、朝七時二十分の新幹線で上野へ、東京はおだやかな天候で一先安心、いざ精養軒へ。

会場では岩手弁がそこかしこから聞こえ、さすが町人会だなと笑みをおぼえました。

皆さんは若い頃からふるさとを離れ、日本経済を苦勞されながら今のような発展にご尽力を賜ったことであり深く感謝を申し上げたいと存じます。

さて、いよいよ出番、子供達は立派に舞を見てもらおうと練習を重ねて参りました。



私共胸前と息もピッタリと合い大きな振りでもうまでになく上手に舞ってもらい手前みそながら感動しました。皆様方はいかがでしたか？



会場では旧八重畑が小中学校同期のテーブルでの談笑。『あれ！(二元)の隣の人だじえ』と忘れていたことを謝ったり、親類の方々とのふれあい、昔話に花が咲きました。この親睦交流会はすばらしい企画だと感じました。

岩手の春はこれからが本番、梅が咲き、木々は芽吹き始め山萌えるいい季節になってきます。会員の皆様、岩手の春を体感してはいかがでしょう。

お出かけをお待ちしております。帰りの車中は皆さんにお会いした喜び、舞が無事に終えられたことを満足しながら帰路につきました。又、いつか又、お会いできることを、そして会員の皆様が元気でられることを念じております。ありがとうございました。



私たちの舞をご覧いただき、ありがとうございました。そして思い出に残る写真をいただきありがとうございました。

- 佐藤 謙江
- 佐藤 香月
- 中村 ゆずか
- 千葉 凌雅



神楽を舞って下さった4人の皆さん



東京と岩手

花巻市東京事務所

副所長 晴山 剛

在京石鳥谷町人会の皆様、いつもお世話になっております。

東京事務所での勤務も早いものでもう二年が経ちました。私自身、岩手から離れて生活した経験が無かったので大都会東京での生活への戸惑いや不安は多少ありましたが、この二年間様々なことを経験させてもらい有意義に過ごさせていただいております。二月末の東京マラソンにも10kmコースではありましたが参加し楽しんできました。



(翌日から筋肉痛が・・・)

二年前に東京へ来て真っ先に感じたのはやはり人の多さですね。東京事務所が有楽町にあるせいかもしれませんが、気持ち悪いくらいにどこからかど大人が出て来るし、流

れにまかせているとこんでもない方向へ行ってしまいそうな感じさえしました。赴任したのはリーマンショックの影響が顕著になってきた頃でしたので、企業訪問しても景気が悪いお話ばかりでしたが、街の様子はと言えば相変わらず人通りは多く、あちこちでビルの建設工事をみかけるせいなのか、のんびりとしている岩手から来た人間にとっては「どこが一体不景気なんだろう?」と今一つピンとこない感じがしていたことを思い出します。

やはり東京は日本の情報や経済、文化の中核なのだ改めて感じ、地方の活性化には東京の持つ機能や資源を有効に活用することがいかに重要かを考えさせられます。

さて、昨年の夏は異常気象とも言える程の猛暑でしたので、冬の気候が心配されておりましたが、夏とは一変し豪雪で寒さが厳しい冬でした。石鳥谷の冬の風物詩と言えば大瀬川地区の葛丸川溪流沿いの「たろし滝」

が有名ですが、過去二年は暖冬などで崩落したりと測定不能でしたが、今年の冬は五・六八mと過去八番目の太さで「今年は豊作」と太鼓判のようです。私も測定日の前日に現地

に行って見てきましたが、立派なたろしが出来ていて東京では感じられない自然の偉大さのような何かしら神聖な気持ちになりました。



(東京事務所の神原さんも実物に)

びっくり

東京事務所勤務という東京と岩手との狭間に置かれたことで、人工的なものと大自然、集積と閑散など両極端さを感じながらの生活の中から多くを学びながらこれからの仕事に活かしてまいりたいと思います。今後もふるさとでの発展のために東京事務所だからこそできる何かを模索しながら頑張りたいと思います。



頑張れ石鳥谷!

柳原 記

一つ 人より力持ち(よっしゃー!)
二つ ふるさと 石鳥谷(そうだー!)
・・・
十で 東京にまた行くぞ(いくぞー)
なんと勇ましい進軍歌で自ら鼓舞するは、連続十一回出場の全日本綱引き選手権大会の顔、石鳥谷の猛女達である。さる三月六日に彼女達は駒沢体育館で戦いに挑んだ。

第一回戦は強豪の岡山は “福浜レディース” に力及ばず。第二回戦は富山の “愛綱会” には粘りに粘って粘り勝ち、天晴れ猛女! 第三回戦は山梨の “高根の華” に涙を吞む。

バルコニーの我等応援団は、小豆入りのペットボトルの鳴子や旧町旗を振り、メガホンで石鳥谷、石鳥谷と声を張り上げて応援、これが審査員に響いたのか三回目の応援賞を頂き嬉しい限りである。

恒例の懇親会は在京花巻町人会と大迫町人会からの出席を頂き大いに盛り上がり、猛女持ち込みの濁り酒に快く酔い、来年も来たれと励まし再会を約束した。

(次ページへ)

石中改築記念事業への
在京石鳥谷町人会の
皆様へ

協賛金のお礼

石鳥谷中学校校舎改築記念事業実行委員会
会長 畠山 尚己

春暖の候、皆様におかれましては
ご清祥のこととお喜び申し上げます。
このたびの東日本大震災により、
大変なご心配をおかけしております。
石鳥谷町も停電が続き、三日ぶりに
復電したときは、電気のありがたさ
を身にしみて感じたところです。そ
れでも食料やら燃料やらの不足は日
一日と深刻になり、みんなで助け合
うことの大切さを実感している次第
です。

石鳥谷中学校は、耐震に優れた校
舎で、ガラス一枚割れることなく、
人的被害もありませんでした。体育
館と格技場だけは損傷を受け、今後、
補修工事が入る見通しです。
さて、このたびは、校舎改築記念

事業に多くの皆様から御賛同いた
だき、誠にありがとうございました。
皆様の善意は、総額一四〇万円を
超えました。在京石鳥谷町人会の
方々にも大変温かいお気持ちを送
っていただき、四九名の方から三〇八
〇〇〇円もの協賛金をいただきました。
振込用紙にメッセージをお寄せ
いただいた方もおられ、「自分は石鳥
谷中学校の卒業生ではないけれど、
すばらしい学校を築いてください」
とか、「良き子ども達の育成と教育の
充実に期待します」など、激励のお
言葉に勇気を頂戴した思いでいっぱ
いで、ただただ嬉しく感じています。
在京石鳥谷町人会の一人お一人
の皆様、誠にありがとうございました。
皆様のご健勝と石鳥谷町人会の
ますますの御盛会を祈念申し上げ、
さらに未来の石鳥谷を担う子ども達
の教育に万全を期すことをお誓い申
し上げまして、お礼の言葉といたし
ます。



在京石鳥谷町人会役員

- | | | | |
|---------|--------|----------|-------|
| 会長 | 高橋 弘美 | | |
| 〔総務〕副会長 | 大竹 雅夫 | 〔相模原〕副会長 | 藤原 龍考 |
| | 吉田久美子 | | 坂井 凱子 |
| | 荒瀬富姫子 | 〔財務〕副会長 | 山口 建 |
| | 藤原 富蔵 | | 山口 郁子 |
| 〔企画〕副会長 | 大原 公司 | | 高橋 徹 |
| | 河嶋 稔 | 〔監事〕 | 菊池 善男 |
| | 佐藤 辰夫 | | 柳原 政義 |
| | 小原 康治 | 〔顧問〕 | 後藤 榮 |
| | 熊谷 四郎 | | 河嶋 幸夫 |
| 〔広報〕副会長 | 佐藤 忠男 | | 藤原 志 |
| | 飯塚 悦子 | | 熊谷 福二 |
| | 佐々木ミツ子 | | 熊谷 吉三 |
| | 後藤 勝夫 | | |
| | 櫻井 サト | | |
| | 草間マサ子 | | |
| | 君田 敏 | | |
| | 伊藤 精司 | | |

ふるさとの被災地への義援金振込のご案内とお願い

在京石鳥谷町人会会員の皆様、先のふるさとを襲った東日本大震災に被災され、ご家族や住居、そして生まれ育った街そのものまでも失った方々の、深い悲しみと現在のそしてこれからのご苦労とご苦難のことを思うと心痛いたたまれず、何か・・・何か・・・できないものかと、日増しに深まる強い思いをお持ちのこととご推察申し上げます。

すでにマスコミや金融機関の案内を得て、日本赤十字社や日本ユネスコ協会連盟等に義援金を贈られた方も多くいらっしゃると思います。

また直接、ふるさと花巻市に、そして被害甚大であった三陸沿岸部を治める岩手県に義援金を贈りたいと思われる方も多くいらっしゃると思います。

つきましては、下記の通り花巻市、岩手県への義援金振込み口座をご案内申し上げます。

出来るだけ多くの方にご協力頂き、ふるさとの復興に少しでも役立てればと思っております。よろしくお願い致します。

☆花巻市へ

金融機関	支店名	口座番号	口座名義人名
岩手銀行	花巻支店	(普) 2072179	花巻市災害義援金

☆岩手県へ

金融機関	支店名	口座番号	口座名義人名
ゆうちょ銀行	—	00100-2-552	岩手県災害義援金募集委員会
岩手銀行	県庁支店	(普) 2016634	
北日本銀行	本店営業部	(普) 7028484	

尚、在京石鳥谷町人会としての対応については、任意団体としての適切な取り組みを関係の方々と協議しながら進めて参りたいと思っております。

在京石鳥谷町人会
会長 高橋 弘美

完熟りんごオーナー募集

◎りんごの木 (サンふじ) 1本=1万円
1本当たり 10kg 2~3箱の収穫量

◎オーナー期間は、4月から収穫終了まで。
収穫日は、毎年11月第2(土)・(日)

◎お申込み 毎年4月1日~8月31日

【お問い合わせ先】

伊藤果樹園 代表 伊藤俊美

〒028-3141 岩手県花巻市石鳥谷町五大堂12-49

TEL・FAX 0198-47-2150



平成22年度在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会収支決算書(H22.11.7) 単位:円

収入	支出	残高	備考
706,000			総会参加者89名(同伴者含)
231,000			来賓からのお祝い(市関係・近隣ふるさと会 他)
	761,705		精養軒への支払い
	90,888		総会準備費(案内状・印刷・コピー 他)
	17,269		広報はなまき購入代
	54,080		メール便(総会のご案内)
	70,809		餅だれ・日本酒・ワイン
	80,700		十日市神楽への謝礼・来賓お土産
937,000	1,075,451	△138,451	

会費納入のお礼

会員の皆様には、会費納入にご協力ありがとうございます。

納入された会費は、会報発行費や町人会の活動のため有効に活用させて頂いております。

会計担当 山口

年間の主な予定・催しもの

- ◎ 総会・親睦交流会(11月6日・上野精養軒)
- ◎ 下町散策会(5月の予定)
- ◎ 岩手県人の集い(6月5日・ホテルラングウッド=日暮里)
- ◎ 石鳥谷まつり(8月13日)
- ◎ 花巻・石鳥谷観光物産展
(11月中旬・阿佐ヶ谷すすらん通り商店街)

編集後記

「町人会だより」の原稿を募集しています。

ふるさとへの思い、ふるさとからの便り、今感じていること、町人会への意見等々どんな事でもよろしいです

お気軽にお寄せ下さい。(広報部)